

新たな大学教員像の構築に向けて

— 学士課程教育とFD —

日 時 平成 22 年 6 月 24 日 (木) 16:40~18:00

会 場 ユニソン会館 3 階 大会議室

講 師 同志社大学 文学部

教授 えん げつ 圓 月 かつ ひろ 勝 博 先生

同志社大学 前教務部長・前全学共通教養教育センター所長
日本私立大学連盟教育研究委員会 FD 運営委員会委員長

< 次 第 >

16:30~	受付開始
16:40~16:45	開会挨拶
16:45~17:45	ご講演
17:45~18:00	質疑応答
18:00~	閉会挨拶

講演要旨

平成 20 年 4 月の「FDの義務化」を受けて、同年末に公表された中央教育審議会答申「学士課程教育の構築に向けて」は、FDを「学士課程教育の充実を支える学内の教職員の職能開発」として定義しており、学生の学習活動を主眼とする大学運営を強く提唱している。しかし、上記答申が要約する新たな高等教育政策は、従来の大学教員像を否定するものであり、近年の大学改革の象徴となったFDに対して反発する大学教員も少なくない。FDに対する反発の背後には、自分が目指すべき理想像を見失った大学教員の不安と苛立ちがある。現在、FDの最大の課題は、FDに反発する大学教員をいたづらに批判することではなく、その不安と苛立ちの原因を冷静に分析した上で、大学教員という職業集団の社会的使命に関する共通理解を確立し、新たな大学教員像の構築に向けて、率直な議論を始めることであろう。今回の講演がそのささやかなきっかけとなれば幸いである。